

資格取得で将来の選択肢を増やす

企業訪問をした際や求人に来客対応をした際に、採用担当者にどんな生徒を採用したいかと聞きます。「仕事仲間とコミュニケーションの取れる人」「運動部で部活動を頑張った人」「元気にあいさつができる人」などの答えが多いのですが、たとえ運動部でなかった人でも取得資格を頑張った人はそこを評価する、とも言われます。資格を多く持っているということは、物事に前向きに、積極的に取り組んでいるということだから、そういう人材はぜひ欲しい、ということです。

資格を取ることで大学入試に有利になるということもぜひ意識してほしい点です。例えば、高崎経済大学経済学部（商業等推薦）は、日商簿記2級以上、電卓・ビジネス文書・情報処理の検定の1級、実用英語検定の準2級以上などを持っていると点数が加算されます（検定によって加点される点は変わります）。また、國學院大（経済）、日本大（商）、専修大（経営）、駒澤大（経営）など、全商協会の特別推薦入試のある大学は、全商協会主催の各種検定試験の1級取得数と評定平均値が重要になってきます（詳しくはみなさんに配られた「進路の手引き」56ページを読んでください）。

進学・就職、どちらにしても、資格を取ることはみなさんの将来の選択肢を増やすことにつながります。在学中にひとつでも多くの資格を取って、将来につなげていってほしいと思います。

求人票の受付が始まりました

7月1日から求人票の受付が始まりました。採用人数は昨年並みという企業が多く、製造業は求人を増やしているところも多かったです。令和3年度の特徴として、職種が事務という求人が非常に少ないです。少ない求人に対して、多くの生徒が希望している状態です。事務職の求人が少ない理由としては、企業の人工知能の活用が加速し、事務系の仕事自体が減少していることが考えられます。今後もこの傾向は続くでしょう。事務職を希望している生徒は、製造などほかの職種にも視野を広げて考えるようにしてください。

レセプション実習 3年の就職希望者は企業の受付の実習を行いました。来校された企業の方からは、高商の生徒さんはきちんとしていてとても良いですねと、よくほめられます。これから企業見学が始まりますが、企業の期待に応えられるよう、気を引き締めて見学の準備をしていきましょう。実際の就職試験は9月16日からになります。3年生は、この試験に向けて作文、一般常識、面接練習等の準備を始めてください。

夏季休業中に進路室を利用しよう！

Q: いつ使えますか？ A: 平日の8:30~16:45に利用できます。

Q: 進路以外の目的でも使えますか？

A: 進路に関わる学習だけでなく、授業の予習・復習や検定試験の勉強など、どんな学習をしてもかまいません。

Q: 進路室にはどんな資料があるのですか？

A: 大学・短大・専門学校・企業・公務員の資料、大学等の過去問題・就職問題集・SPI問題集・時事問題集・小論文問題集、先輩方が受験した進学先・就職先の受験報告書 などがあります。

Q: 先生に質問はできますか？

A: 進路に関することは、進路室に常駐している進路指導部の先生が相談にのります。進路は早く準備を始めた人ほどよい結果を納めることができます。1年生・2年生のうちから進路について考えてみましょう。



進路関連行事

2年生キャリアガイダンス

6月22日(火)5・6時間目、本校体育館で2年生を対象にキャリアガイダンスが行われました。今回は、公務員、介護福祉、会社経営、葬祭、ウェディング、建築、ホテル、作業療法、税理士、パティシエという10の職業から講師をお招きしました。それぞれの分野ごとにスペースに分かれ、生徒たちは自分の興味に沿って選んだ3つの分野の話を順に回ります。仕事の内容や勤務体系、やりがい、大変なことなど、実際に現役で働いているプロの方々の貴重なお話に、みんな熱心にメモをとりながら聞き入っていました。



警察・消防・自衛隊合同説明会

6月28日(月)放課後、3年生の公務員志望者を対象に、警察・消防・自衛隊合同説明会が行われました。実際の制服姿の警察官、消防士、自衛隊員の方々から全体の説明を受けたあと希望別に分かれ、個別の質問にも答えていただきました。全体説明の中で、「この3つの仕事の良い点は、人に感謝される仕事だということ」、「大変なこともあるけれど、市民に感謝されたときにやりがいを感じる」とおっしゃっていました。公務員試験に合格するのは簡単なことではありません。1・2年生の志望者はできるだけ早く対策を始めてください。3年生は9月の試験まで残りわずかですが、部活終了後の夏から本気で頑張っておきたい先輩もいます。全力で取り組んで合格を勝ち取ろう。

